

公共施設カルテ

1 基本情報

施設名	北部体育館	所在地	須坂市大字小河原1055番地 3		
施設分類	スポーツ・観光系施設	所管課	文化スポーツ課		
財産区分	行政財産	延床面積（㎡）	2424.58		
居住誘導区域	非該当	防災関連施設	該当		
設置根拠	須坂市体育施設条例	設置の目的・経緯	体育の振興を図るため	交通アクセス	バス停虫送入口から徒歩 8 分
事業内容		貸付の有無	有		
管理運営の状況	その他	委託内容	使用料収受については公益社団法人須高広域シルバー人材センター		
備考（その他特記事項）					





2 建物の状況

階数 （主たる建物）	地上	2	地下	0	建築面積		延床面積	2424.58
構造 （主たる建物）	S造				建築年度 （主たる建物）	1990	築年数 （主たる建物）	34
取得価格	434,575,150				耐震化の状況		新耐震基準施設	
帳簿原価	435,968,300				バリアフリー対応		AED,スロープ、多目的トイレ	
減価償却累計額	425,172,627				省エネルギーの対応状況		LED化	
老朽化率	98%				施設の劣化状況			

3 施設コスト

費用		2022	2023	2024	3年間の平均値
	人件費	793	810	825	809
	委託料	4,480	6,051	6,050	5,527
	光熱水費	2,850	2,979	3,230	3,020
	維持補修費	5,179	2,216	2,215	3,203
	減価償却費	13,069	13,082	3,465	9,872
	指定管理料				
	その他	861	1,050	797	903
費用合計		27,232	26,188	16,582	23,334

収入	利用料等収入	775	2,423	2,430	1,876
	国庫補助金等収入				
	その他				
収入合計		775	2,423	2,430	1,876

収支	-26,457	-23,765	-14,152	-21,458
利用者一人当たりコスト	4.4	0.8	0.5	1.0

修繕履歴	金額	1,394	内容	2019年度 トイレ改修工事
		1,210		2022年度 東側防球ネット設置工事
		1,210		2022年度 西側防球ネット設置工事
		1,004		2022年度 防球仮設足場設置工事
改修履歴	金額	53,790	内容	2024年度バスケットゴール改修、 全館LED化
今後10年間での大規模改修費用				

#### 4 施設利用状況

利用対象	誰でも	
開館時間	平日	午前8時30分から午後9時30分
	休日	午前8時30分から午後9時30分
休館日	12月29日から翌年1月3日	
駐車場の有無	有	

	2022	2023	2024	3年間の平均値	平均と2024の比較
年間利用者数	6,174	31,782	32,913	23,623	39%
年間利用可能人数					
利用率					
(参考) 年間目標利用人数					
年間利用時間		1,335	1,019	1,177	87%
年間利用可能時間		4,450	4,429	4,440	100%
稼働率		30%	23%	27%	87%

# 公共施設評価結果シート

施設名施設名称	北部体育館
---------	-------

## 1 各評価

### (1) 経費効率に関する評価

評価項目	評価	点数	評価基準
3か年の管理運営経費と利用者数による相対的評価	D	-1	他施設と比較して多い（150%以上200%未満）
合計		-1	

#### 【評価基準】

評価項目	評価	点数	評価基準
3か年の管理運営経費と利用者数による相対的評価 (当該施設の経費÷当該施設の利用人数) (市民利用全施設の経費÷市民利用全施設の利用人数)	A	2	平均と比較してかなり少ない（50%未満）
	B	1	平均と比較して少ない（50%以上100%未満）
	C	0	平均と比較し同規模（100%以上150%未満）
	D	-1	他施設と比較して多い（150%以上200%未満）
	E	-2	他施設と比較してかなり多い（200%以上）

### (2) 必要性に関する評価

評価項目	評価	点数	評価基準
利用者数	A	2	過去3か年平均と比較して、増えた（10%以上）
利用者の多様性	A	1	現在の利用者が、特定の人（団体）に限定されていない
貸館利用率	B	1	過去3か年平均が20%以上50%未満
合計		4	

#### 【評価基準】

評価項目	評価	点数	評価基準
利用者数	A	2	過去3か年平均と比較して、増えた（10%以上）
	B	1	過去3か年平均と比較して、同等・やや増えた（0%以上）
	C	-1	過去3か年平均と比較して、やや減った（-5%以上）
	D	-2	過去3か年平均と比較して、減った（-10%以上）
利用者の多様性	A	1	現在の利用者が、特定の人（団体）に限定されていない
	B	-1	現在の利用者が、特定の人（団体）に限定されている
貸館利用率	A	2	過去3か年平均が50%以上
	B	1	過去3か年平均が20%以上50%未満
	C	-1	過去3か年平均が10%以上20%未満
	D	-2	過去3か年平均が10%未満

**(3) 施設老朽度に関する評価**

評価項目	評価	点数	評価基準
老朽化率	C	-1	75%以上100%未満
耐震性能	A	2	新耐震基準施設（昭和57年以降に建設された施設）
バリアフリー	B	-1	バリアフリー新法未対応
これまでの改修履歴	B	1	必要な改修がある程度行われている
合計		1	

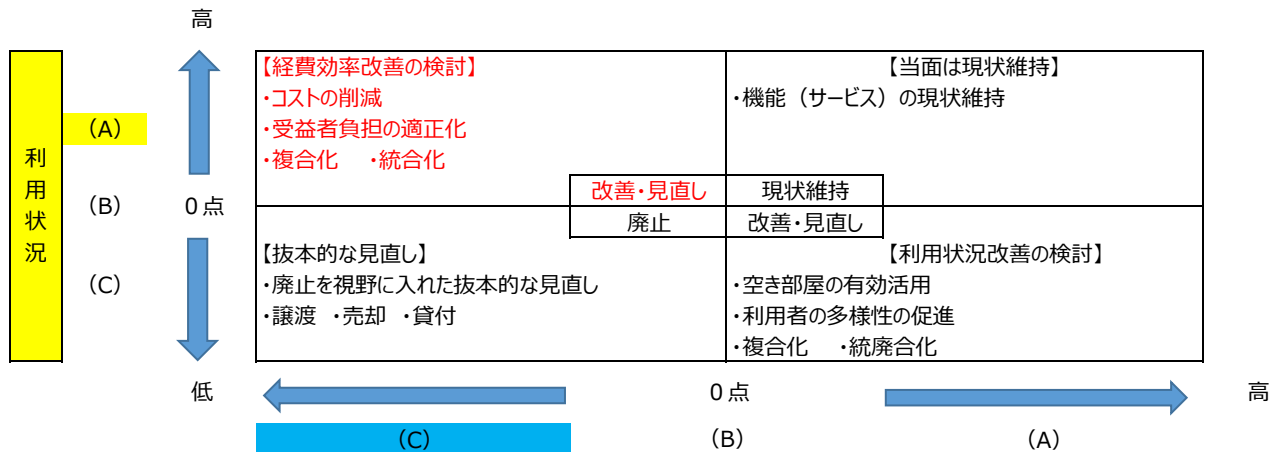
## 【評価基準】

評価項目	評価	点数	評価基準
老朽化率	A	2	50%未満
	B	1	50%以上75%未満
	C	-1	75%以上100%未満
	D	-2	100%
耐震性能	A	2	新耐震基準施設（昭和57年以降に建設された施設）
	B	2	耐震改修不要（昭和56年以前に建設された施設で、耐震診断の結果耐震改修不要）
	C	2	耐震改修済み（昭和56年以前に建設された施設で、耐震改修済）
	D	-2	耐震診断未実施（昭和56年以前に建設された施設で、耐震診断未実施）
	E	-2	耐震改修未実施（昭和56年以前に建設された施設で、耐震改修未実施）
バリアフリー	A	1	バリアフリー新法対応済
	B	-1	バリアフリー新法未対応
これまでの改修履歴（P）	A	2	必要な改修が十分に行われている
	B	1	必要な改修がある程度行われている
	C	-1	必要な改修が十分には行われていない
	D	-2	必要な改修が行われていない

## 2 経費効率と必要性の評価からソフト面における施設の評価します

横軸	経費効率による評価	-1
縦軸	必要性による評価	4
	合計点数	3

【経費効率改善の検討】



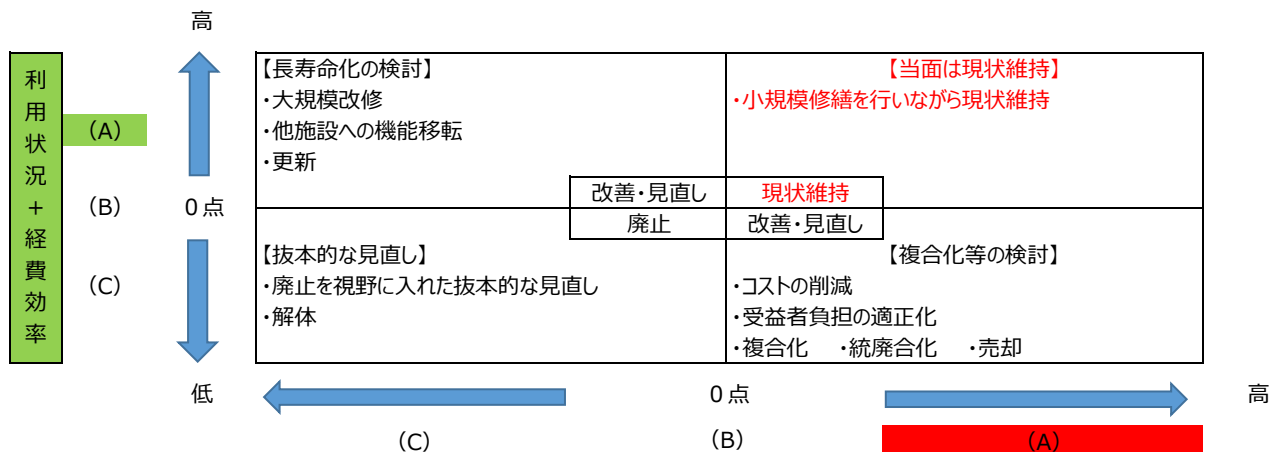
経費効率

評価	説明
A	評価結果の集計点が、1点以上
B	評価結果の集計点が、0点
C	評価結果の集計点が、-1点以下

## 3 ソフト面における評価と施設の老朽化度（ハード面）の評価から最終的な施設の方向性を導きます

横軸	老朽化度からの評価	1	横軸
縦軸	必要性和経費効率からの評価	3	縦軸
	合計	4	

【当面は現状維持】



建物性能

評価	説明
A	評価結果の集計点が、1点以上
B	評価結果の集計点が、0点
C	評価結果の集計点が、-1点以下